

今、高校生が考えるデジタルシティズンシップとは ーデジタルウェルビーイングな社会を目指してー

開催地： 札幌

グループ： D班

2023.09.16

ICTは壁を超える！

市立札幌旭丘高等学校
北海道石狩南高等学校



壁を超えるとは？

ICTは

- 距離や時間
- 機械と人間

いろいろな壁を乗り越える

→壁を乗り越えるような活用をしよう！



具体例

1. 距離と時間の壁

- a. 遠くにいる人とのコミュニケーション(距離)
- b. いつでもどこでも閲覧・見返せる(時間)

2. 機械と人間の壁

- a. あいまいな検索をできるように(生成AI)
- b. 同時通訳

壁にはトラップがいっぱい

こんな感じにつまずいてしまう…

- SNSでの誹謗中傷・炎上
- 個人情報へのSNSへの投稿
- 生成AIのフェイクニュース・作者の権利侵害
- 著作権などの権利侵害

安全にその壁を超えるには？

- すべての情報を鵜呑みにしない
 - すべての情報は正しいとは限らない！
 - ファクトチェック・どうやって調べられた？
 - ネットリテラシーを身に着けよう！
 - 実際に身につけれる？
- 現行の教育では十分とは言えない

暗記だけの教育

どうする…？

提言

年が近いため、親しみやすく
高校生・小中学生両方に学びをもたらす

私たち高校生で小中学生向け

「体験型授業」

を作ろう！

なぜ小中学生？

大人になる前段階でICTを正しく使うための教育を！

具体案

- 炎上と発信の体験
→ 現代版「避難訓練」
- 体験する授業は経験を生み
一生の知識を根付かせる
- 小中学生から学ぶ
→ 小さな失敗を経験し加減がわかるように

具体案

高校生も中学生に教えるために勉強をし
ICTや情報セキュリティーへの理解が深まる

高校生が実際に中学生に炎上を疑似体験させ、
高校生が先生となり対策を一緒に考える

→高校生も中学生も互いに学び相乗効果を期待

ICTは壁を乗り越える

- このICT教育プログラムをもとに
世代間の壁を乗り越える

- 発展例

- 高齢者へのICT機器への教育
「孫世代から教えてもらうICT」

→ICT社会への理解を高齢者に深めてもらう

→高齢者の考え方がわかりよりよいデバイスを生み出す！



提言

高校生だからこそ社会に果たせる役割とは…

「高校生にICTを体験・教えさせろ！」

「実際の体験」は

弱みを教えてくれ、記憶に残る一生の財産に